

過去の治療データの調査研究への使用のお願い

当院では下記の研究を行っております。この研究は、橈骨遠位端骨折の術後の尚早亜脱臼のリスク因子を調べることを主な目的としています。そのため、過去に橈骨遠位端骨折の手術治療を受けた患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

課題名：掌側月状骨窩骨片を有する橈骨遠位端骨折の術後掌側亜脱臼のリスク

に関する検討

<目的及び概要>

橈骨遠位端骨折で掌側月状骨窩骨片を有する際に手術後の手根骨の掌側亜脱臼が問題となることがあります。当院における手術加療を行った掌側月状骨窩骨片を有する橈骨遠位端骨折で掌側亜脱臼を生じた症例と生じていない症例を比較し術後掌側亜脱臼のリスク因子をあきらかとすること。

<研究方法>

2015年2月から2020年4月の間に掌側ロッキングプレートによる手術加療を行った掌側月状骨窩骨片を有する橈骨遠位端骨折症例 32例

骨折型、手術で使用した掌側ロッキングプレートの種類、追加固定の有無、掌側月状骨骨片の大きさ、術後手根骨の掌側亜脱臼の有無を、カルテから調査し検討します。

<研究成果発表>

学会等や誌上での報告を行います。個人名や個人情報公表されることはありません。

<費用に関して>

この研究に参加することによって新たな診療費用が加わることはありません。また、患者様への謝礼等ありません。

<研究者>

整形外科/四肢外傷センター：平瀬 仁志

<問い合わせ先>

本研究に関するお問い合わせや診療情報の利用を望まれない方は、下記までご連絡ください。

兵庫県立西宮病院 医事課
電話：0798-34-5151（代表）